

《 アイイス スピリチュアル・ヒーリングコース 》

アイイスでは、長年英国で生まれ、試され、認められてきたヒーラー養成メソッドを導入しています。このコースの目的は、すべての人に内在するヒーリング能力を発掘するお手伝いをし、スピリチュアルヒーラーを目指す皆さんの参考・指標として活用して頂き、最終的には日本中にスピリチュアルヒーリングと光を普及させることにあります。また、スピリチュアルヒーリングを通して皆さんの霊性の認識と向上に協力します。

このコースはアウェアネスベーシッククラス（通信教育有）、解剖学と生理学クラス（通信教育のみ）、スピリチュアルヒーリングクラス（通信教育有）、ヒーリング実習（ヒーリングセンターでの見習い参加又は60のケーススタディ）そして全6回のワークショップ参加で構成されています。2年間で終了するコースで、アイイスの認定試験に合格すると、「アイイス認定ヒーラー」としてご活動いただくことが可能です。

コース期間

コースは1月から始まり、最初はアウェアネスベーシッククラスからスタートし、3ヶ月後に筆記試験があります。筆記試験の合格者のみ、その後開催される解剖学と生理学通信講座を受講します。約3ヶ月の間に、解剖学と生理学に関する合計6回の添削課題が出された後に解剖学と生理学に関する筆記試験を行い、筆記試験の合格者のみワークショップ初級1へと進みます。翌学期から2学期間で2学期に渡るヒーリングクラスを受講し、同時に見習いヒーラーとして実習に参加するか、60のケーススタディを始めます。2学期間のヒーリングクラス受講終了後にそしてヒーリングコースを開始してから約2年後の最後のワークショップ（全5回のうちの5回目）の中で筆記試験を行い、コース終了となります。妊娠、入院など特例をのぞき、基本的には2年間で終了です。何らかの理由で2年以上かかる場合は事務室にご相談下さい。アイイス認定ヒーラーの資格をご希望の方は、コース終了後にヒーラー認定試験を受けて下さい。（試験料は別途必要）

※ アウェアネスベーシッククラスの筆記試験合格者のみ、次のステップに進むことができます。アウェアネスベーシッククラスの受講は、事前に同クラスを終了している方およびテキストDまたは中級2までの試験を受けている方は免除となります。

※ ヒーラー認定試験の受験は翌年度1月末まで可能です。

※ 解剖学と生理学通信講座に関しては、課題提出のありなしに関係なく、本人の責任によって解剖学筆記試験を受験することが可能です。

※ 日本の医療の国家試験（医師、看護師、鍼灸師など）に合格している方は、解剖学と生理学通信講座を受講する必要はありません。コース申し込み時に事務室まで証明書類の写しを事務室に送付してください。また、解剖学と生理学通信講座を受講せずに独学で勉強された上で、試験だけを受験いただくことも可能です。その場合13,000円の受験料が発生し、不合格の場合、その後のステップへは進めません。

ヒーリングコース受講対象者

- ① アイイスの会員のみ、受講いただけます。
- ② 病気療養中で薬を服用している方は治療が終わってからご参加ください。なおこの件に関してご不明な点、ご相談したい方はアイイス事務室までお問い合わせください。
- ③ ヒーリングワーク中級2を受けるまでに、アイイスのアウェアネスクラス（アウェアネスベーシッククラス及びアウェアネスベーシック通信教育クラスを除く）またはアウェアネスワークショップを合計9時間以上、受講することが義務付けられています。（絵画クラス、リフレクソロジー、マントラクラス、ヨガクラスなどはここでいうアウェアネスには入りません。それ以外のほとんどのクラス、ワークショップが対象となりますが（瞑想、霊視基礎、ビジュアライゼーション、ヘルスケアインテュイティブなど）不明な点はお問い合わせ下さい。
- ④ ワorkshop中級1から先は、喫煙者は参加いただけません。（それまでに禁煙して下さい）
- ⑤ 「アウェアネス&ミディウムシップ通信教育コース」を終了した方は、アウェアネスベーシッククラスを受講する必要はありません。

解剖学と生理学通信講座

約3ヶ月の間に、解剖学と生理学に関する合計6回の添削課題が出されます。担当講師との通信方法は、メール便などを含む郵送、メール、ファクスの3択です。手書き解答が基本ですので、スキャンしてEメール、またはファクスとなりますが、文字がつぶれる等の支障がある場合は郵送のみとなります。また、担当講師の通信環境に応じて、通信手段が限定される場合もあります。（全課題の提出がなくても、本人の責任によって解剖学の試験を受験することは可能です。）

ヒーリングクラス

1学期間で全5回のヒーリングクラスを、2学期間に及び受講いただきます。1回2時間のクラスで、春コースの場合5月からの夏学期と9月からの秋学期に開催され、秋コースの場合1月からの春学期と5月からの夏学期に開催されます。（クラスへの参加者数などの事情によりクラスが開催されず、全員が通信教育に切り替わる場合もあります。）認定試験受験希望者は全10回のうち、最低6回の出席率が条件となります。

◆ ヒーリング通信（Eメールまたは郵便形式）

クラスへの通学が難しい方は、通信により受講することが可能です。こちらはEメールでのやりとりが基本です。（郵送でも対応いたします。）全8回の通信課題が出されます。認定試験受験希望者は最低5回の課題提出が条件となります。

ヒーリングのワークショップ

初級 1、初級 2、中級 1、中級 2、上級、の 5 つのワークショップが用意されています。数回にわたり、東京、大阪など主要都市で開催されますので（その年度の参加者数により開催地は変動します）、いずれかの開催地で必ず受講してください。なんらかの理由で受講できない場合は早めに事務室へご相談下さい。また、初級 1 と初級 2 のワークショップに限りヒーリングコース受講生以外の方も受講可能です。

ヒーリングセンターでの見習い実習

ヒーリングワークショップ初級 1 に参加した後は、ヒーリングセンターへの見習い参加が始まります。ヒーリングセンターの開催日時をアイイスヒーリングセンターのホームページまたはヒーリングセンター事務局で確認し、ご希望のセンターへ見習いとして所属し、ご参加下さい。いずれのセンターも 1 学期間に最低 5 回の開催を基本としています。（地域により諸事情から 5 回に満たないセンターもあります。）ヒーリングセンターへの参加は、1 学期間に最低 3 回以上で、コース終了までに最低 16 回の出席が必須です。16 回に満たないままコース終了期間を終えてしまった方で、認定試験受験希望の方は、16 回を満たすまで見習い参加を継続するか、ケーススタディで補う事になります。（所属先以外のヒーリングセンターでの振替参加も可能）出席回数の管理はヒーリングセンターの主任が行い、認定試験で必要となる出席証明書は主任に作成を依頼する事になりますが、ご自身でも記録する事もお薦めします。また見習い参加に関しては、アイイスヒーリングセンターが管理している規約に基づいております。ヒーリングの初級テキストとともに規約を配布致しますので必ずお読みください。（コース終了後も主任の許可があれば、ヒーラーとしてヒーリングセンターへの参加が可能です。）また、見習い参加費（1 学期間で 3000 円/1 回 600 円）を所属センターにお支払いいただきます。

◆ 60 のケーススタディ作成

ヒーリングセンターへの参加が難しい方は、60 のケーススタディを作成いただくことで免除されます。成人のみを対象とし、同じ方へのヒーリングは 5 回まで、最低 12 名の相談者へ 5 回ずつのヒーリング実績が必要になります。アイイス認定ヒーラー、見習いヒーラーへのヒーリングによるケーススタディ、また遠隔ヒーリングによるケーススタディも対象に含めて構いません。ケーススタディ 4 回分をヒーリングセンターへの見習い参加 1 回分相当とし、ヒーリングセンターへの参加でケーススタディの一部をまかなうことも可能です。（何回分でも可能）ケーススタディには、通し番号、ヒーリングの日時、相談者氏名、ヒーラーの所見、相談者による感想を記入してください。書式は自由です。

試験

2年間のヒーリングコースの中で、全受講者を対象にした筆記試験が3回あります。(受験料は全て参加費に含まれています。)

1. アウェアネスベーシッククラスの筆記試験: クラス最終日に行なわれます。
2. 解剖学と生理学通信講座の筆記試験: 6回の添削問題終了後、各会場にて行なわれます。
3. ヒーリングに関する筆記試験: ヒーリングワークショップ上級の中で一時間かけて行なわれます。

ヒーラー認定試験

アイイスの認定ヒーラーの資格希望者は、コース終了から1年以内にアイイス認定ヒーラー試験を受験してください。担当試験官による個人セッション枠を試験用に事務室までご予約いただき、30分の中で実技と口答試験が行われます。試験料は13,000円です。試験当日、推薦書3通、ヒーリングセンターの出席証明書又はケーススタディ、そして合格した際に発行されるアイイス認定ヒーラーカード用の証明写真24mm×30mm 運転免許証明サイズをご提出下さい。(アイイス認定ヒーラーカードは5年間有効で、更新の都度送料込380円(ホルダー付580円)が発生します。)

※ 認定試験の際、試験官へ提出する推薦状などのひな形があります。ご希望の方はアイイスのサイトよりダウンロードしてください。(基本的に書式は自由です)

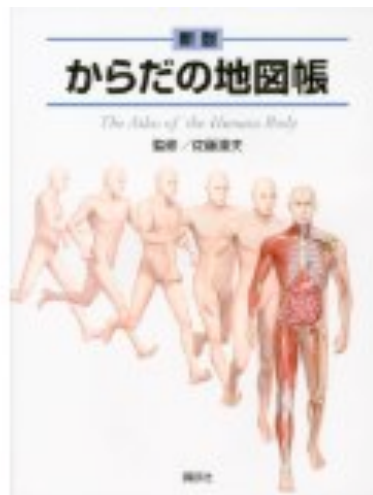
■ アイイスがアイイスのヒーラー規約に反した行動が見られると判断した場合や、その他の理由によってアイイスがアイイスの資格不相当と判断した場合、その資格を取り上げることもあります。その場合、アイイスは必ずしもその理由を提示する義務はありません。もちろん、アイイスの認定ヒーラーの資格を希望されない方は、認定試験を受ける必要はありません。

料金

- ◎ アウェアネスベーシッククラス 25,000円
アウェアネスベーシッククラス通信講座・メール(6回の添削) 20,000円
アウェアネスベーシッククラス通信講座・郵便(6回の添削) 25,000円
- ◎ 解剖学と生理学通信講座(6回の添削) 21,000円
- ◎ ヒーリングクラス(全5回のクラスを2学期間分、テキスト代含)前・後学期合計53,000円
ヒーリングクラス通信講座(メールまたは郵便:8回の添削、テキスト代含)前・後学期合計42,000円
- ◎ ワークショップ: 13,000円×全5回分 (休憩1hを含む7hのワークです)
- ◎ ヒーリングセンター見習い参加費: 1学期間で3,000円(1回600円)を所属するヒーリングセンターにお支払いいただきます。

◎ ヒーラー認定試験（希望者） 13,000 円

このほか、解剖学と生理学通信講座のテキストとなる「新版からだの地図帳(講談社)」(写真参照)を各自でお求めいただくほか、自己都合による追試、またアイイス指定以外の会場での試験開催の場合など、会場費を人数割りしてご負担いただく事があります。また、ヒーリングセンターにまつわる全ての窓口は、アイイス事務室ではなく「アイイスヒーリングセンター」が管轄となります。見習い参加費は直接、各ヒーリングセンターへお支払い下さい。また、ヒーリングセンターへの見習い参加の際には白衣が必要になります。一般的な医療用白衣であれば問題ありませんが、ヒーリングセンターの責任者が認めれば、白い服(私服)でも構いません。購入される方は制服を扱う販売店またはインターネットなどでご用意下さい。



参加者のお住まいがワークショップ開催地の会場から直線距離で 200 km を超える場合、ヒーリングワーク参加費の半額を交通費の補助金と致します。ただし、自己申告制となる上、200 km を超えるかどうかは事務室の判断となることはあらかじめご了承下さい。

注意事項

- ① 希望者が一定数に満たない開催枠では、ヒーリングクラス開催が中止され、通信講座に変更される場合もあります。
- ② ヒーリングコース受講中は継続して年会費をお支払い下さい。
- ③ 2年間のコース中、クラスやワークショップへのお申し込みは各自がその都度行ってください。アウエアスペースクラス(または通信講座)、5回のワークショップ、2学期間のヒーリングクラス(または通信講座)、解剖学と生理学通信講座、そしてヒーリングセンターの見習い参加(またはケーススタディ)の5つが基本です。
- ④ 現在、主要都市として東京と大阪を中心にヒーリングクラスやワークショップを開催しておりますが、このコースへの受講希望者が何名か集まった場合、それ以外のエリアへの講師出張も可能な限り対応いたします。その場合の授業料は必要経費により決まります。事務室までお気軽にご相談下さい。
- ⑤ コース途中での返金はできません。
- ⑥ IISの主義、方針を受け入れていただけない方、またはコース担任がIISの主義、方針に合わないと判断した方、IISのヒーラーとして不相当と認められた方、他の生徒の学習の迷惑になる方などは、コース途中でお断りすることがあります。あらかじめご了承下さい。この場合、IISは必ずしもその理由を生徒に伝える義務はありません。
- ⑦ 「新版 からだの地図帳」はお早めにご用意下さい。

お申し込み方法

コース参加へのお申し込みは、コース開始の前月まで受付けます。お申し込みはアイイス事務室へ、メールまたはお電話、あるいは直接事務室窓口でお申し込み下さい。



[スピリチュアル・ヒーリングコース スケジュール]

1年目												2年目																										
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月														
アウェアネス ベーシッククラス			筆記試験			解剖学と生理学 通信講座			筆記試験			ワークショップ 初級1			ヒーリングクラス前期 クラス受講または 通信講座受講			ワークショップ 初級2			ヒーリングクラス後期 クラス受講または 通信講座受講			ワークショップ 中級1			ヒーリングセンターにて 実習い参加 またはケーススタディ作成			ワークショップ 中級2			ヒーリングセンターにて 実習い参加 またはケーススタディ作成			筆記試験含む		
アウェアネス ベーシッククラス			筆記試験			解剖学と生理学 通信講座			筆記試験			ワークショップ 初級1			ヒーリングクラス前期 クラス受講または 通信講座受講			ワークショップ 初級2			ヒーリングクラス後期 クラス受講または 通信講座受講			ワークショップ 中級1			ヒーリングセンターにて 実習い参加 またはケーススタディ作成			ワークショップ 中級2			ヒーリングセンターにて 実習い参加 またはケーススタディ作成			筆記試験含む		

合格者のみ

※ 認定試験の受験は2月以降、翌年度1月末まで可能